

1. 件 名 : 中部電力株式会社による浜岡原子力発電所 1号原子炉施設及び2号原子炉施設において用いた資材に含まれる放射性物質の放射能濃度の測定及び評価方法の認可申請に関するヒアリング

2. 日 時 : 令和5年9月12日(火) 13時30分~15時00分

3. 場 所 : 原子力規制庁 8階会議室(一部、TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

研究炉等審査部門

栗崎企画調査官、真田安全審査官、上野管理官補佐、大島原子力規制専門員

技術基盤グループ

放射線・廃棄物研究部門

澁谷主任技術研究調査官、柚木主任技術研究調査官、吉居副主任技術研究調査官、仲宗根技術研究調査官、川崎技術参与

中部電力株式会社

廃棄物管理課 課長 他5名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っております。

6. 配布資料

資料1 浜岡原子力発電所1号原子炉施設及び2号原子炉施設において用いた資材に含まれる放射性物質の放射能濃度の測定及び評価方法の認可申請書の概要について

資料2 浜岡原子力発電所1号原子炉施設及び2号原子炉施設において用いた資材に含まれる放射性物質の放射能濃度の測定及び評価方法の認可申請書(参考資料)

## 参考

- ・ 中部電力(株)から浜岡原子力発電所 1号原子炉施設及び 2号原子炉施設において用いた資材に含まれる放射性物質の放射能濃度の測定及び評価方法の認可申請書を受理 (令和5年8月31日)

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/WAS/170000001\\_00012.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/WAS/170000001_00012.html)

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	と原子力規制庁の嶋でございます。そうしましたら本日は、濱本原子力発電所 12 号原子炉施設のクリアランスの認可申請に関するヒアリングの方を始めたいと思います。
0:00:16	関野相良です。ちょっとは、
0:00:20	今日ヒアリングちょっと時間も限られてちょっと別件もあるんですよ。
0:00:25	基準は、
0:00:30	ちょっと最初に段取りからなんですけど、聞くとところに行くと、
0:00:34	今自身の方でその廃止措置計画、昔になってて、ちょっと後で具体書きたいと思うんですけど。
0:00:41	サプレッションチャンバーとその解体をその年度明けから行いたいっていうような話も聞いているもんですから。従って、
0:00:52	廃止措置計画が認可された暁には、解体して、
0:00:57	それもクリアランスしたいっていう段取りなので、
0:01:02	年度内に認可を希望してるっていう話だったと思います。ちょっとそこも確認したいんですけど、と思います。
0:01:10	なのでちょっと会合としてはその 10 月 5 日に入れさせてもらってますと。
0:01:15	時間は 1 時間なので、おそらく資料としては今日、
0:01:21	出してもらってるパワーポイントベースで話してもらってあとちょっとうちもその、
0:01:26	ど、どういうことを確認しないといけないのかっていう、ちょっと論点整理も、
0:01:32	このヒアリングを活用して、
0:01:34	反応して、次の会合で話をしたいと思います。
0:01:41	認可スケジュールを考えると、多分ちょっと超す月 1 ペースぐらいで審査会をしないといけないですね。
0:01:48	多分月 1 ペースでやって、指摘して刈り取って出席して刈り取っているなのでその年内中かと。
0:01:58	年明けには終了させて、
0:02:01	まだわかんないんですけどおそらく補正があると思うんで一般的な例だと。
0:02:06	補正があつて、上を受理した審査書を作って、うちの庁内挙げてっていう話になると、
0:02:14	やっぱり月 1 ペースで年内か年明けには、議論収束させないといけないと思ってるのでちょっと、
0:02:23	効率的にかつ、その、
0:02:26	論点を早いうちに明確にしたいということで、協力お願いしたい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:33	ちょっと現地確認もちょっと事務的には調整させていただきたいと思いますが、 なのでちょっと10月末とかに現地確認させてもらって、
0:02:43	今回の廃止措置、
0:02:45	の状況とか、あと測定そのものは確認した人も結構いるとは思いますが、一生 懸命メンバー変わってるもんですから、
0:02:55	見せていただきたいなというふうに思います。
0:02:58	資料はちょっと言った通り説明してもらってから、うちもちょっと、
0:03:03	今、内容確認中なので、まだ
0:03:08	あとですね、ちょっと論点整理できてないところもありますよ。大ざっぱ何か質問と させていただきたいと思いますが、
0:03:17	ちょっと何個か準備してもらいたいのが、
0:03:22	僕は
0:03:24	審査基準との対比表を方、作ってもらって、うちも最終的には診察を作らないとい けないもんですから。
0:03:35	それもちょっと準備してもらって、
0:03:38	会合で間に合うようであれば参考資料という形で出してもらえばいいし、間に合わ ないようであれば、ヒアリングで出してもらえればというふうに思います。
0:03:48	理想的には会合で出してもらってというのが一番いいと。
0:03:52	まして、
0:03:53	あともう1個、ちょっとこれ後でお話しようと思うんですけど、おそらく
0:04:00	今回前回の認可をベースに、少し、
0:04:06	ロジックを組み立てているところがあると理解してますんで、もちろん前回の認可 申請書を物理的に読むっていうのはできるんですけど、その時間も少し省略した 方がいいのかなと思っておりまして、お互いのため、
0:04:19	従ってちょっと前回の申請のちょっと概要のパワポみたいのを少し準備してもらっ て、
0:04:27	特に
0:04:30	今回の認可申請にあたって前回、
0:04:34	このプラントの5000の状態とかしっかり調べてるんですからそれを多分ベースに やられたと思いますので、何かそのところとかですね、少し、
0:04:46	にしてもらって
0:04:49	もちろん前回の認可申請書を見ることができますけれども、少し
0:04:54	この作業、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:55	時間を短縮させるためにスゴウパークを作ってもらえるといいのかなというふう に、
0:05:03	あとこっから先はちょっと舞台は後で議論させてもらいたいと思いますけれども。
0:05:09	ちょっと一番やっぱ議論だなと思う。前回の認可申請と今回の認可申請。
0:05:15	切り分けをちょっと正確に確認しないといけないなと思っていて、
0:05:20	つまり前回の認可申請で、
0:05:23	を評価してるんで大丈夫です仕事はそれでいいんだけど、ちゃんとそれで包 含されることになってるのかどうかとかですね。
0:05:34	いうのも確認しないといけないし、その、
0:05:38	前回の認可申請の対象物と今回の認可申請の対象物は異なるということなんだ けれども、
0:05:46	そこはどうなのか。
0:05:49	あと、前回の認可申請の確認は終わったのかちょっとわかんないんですけど、もし 終わってるんだったら終わってるか並行して作業が残ってる状態あればそういう確 認しないといけないのでちょっとその、
0:06:01	前回の認可申請との関係性、前回の認可申請で含まれてるものは何か。
0:06:08	前回の認可申請から変わっているものは何か。
0:06:12	具体的にはその規則が変わった審査基準が制定されたことによって、いくつか革 新選定なり、変わってるんでそこはしっかり、
0:06:22	会合でもこちらもちょっと質問して、はい。これはこういう理由で直したんですって いうまとめ資料も出してもらわないといけないと思ってるのでそういうのはやらない といけないと思ってます。はい。あともう1個その運用で変えてるっていう話も結構 あるんでそれはな。なぜかっていうのもうちもちゃんと報で、
0:06:39	それはこういう理由なんです程度もちゃんとまとめ指導とかで返してもらわないと。
0:06:44	いけないなと思ってますので、基本はそういうことなんだと思ってんですけど、ち よっとそれ以外にもその、
0:06:52	細かい内容で直すパート、
0:06:54	直すってことが確認しなきゃいけないものはあるかもしれないっていうそのヒアリン グはしたいと思います。
0:07:01	おそらくこういう申請が、多分電力が増えてくるんじゃないかと思ってその排水、今 まで結構そのクリアランス単品単品で来てるんですけどそれはその廃止措置計画 プラントが増えてきてこの段階を追って、
0:07:17	一気に第一段階から第3段階は出せないんで、
0:07:21	廃止措置段階の初期段階で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:24	1 回申請してそれをベースに、
0:07:27	次の段階での申請を少し出してくるかって増えてくると思うので、
0:07:32	おそらく今回の申請のエクササイズが今後、電力さんも活用されると思うんで、従ってその申請書の書きぶりとか審査の内容も、
0:07:43	ちょっとそういった後続の人たちに、ちょっと貢献できるように、エリアどうしたらいいかっていうのもちょっと研究していきたいと思いますんで、よろしく。
0:07:54	はい。
0:08:00	医療、
0:08:02	等、
0:08:03	規制庁シマで支社長本日用意していただいている資料概要のパートと、あとは、前回、申請からの変更点ということでハッチングとしていただいているんですけど。
0:08:14	もしかしたらちょっとここ途中になっちゃうかなと思うんで、まず概要の方からですね、簡単にご説明いただいて、
0:08:24	マルマンの方もですね簡単に下がっていただきたいなと思いますので、説明の方お願いいたします。
0:08:32	9 電力の川井です。それでは、まず概要説明の資料の方が、説明させていただきたいと思います。
0:08:39	めくっていただきまして目次となります。藤井ですがこの資料では申請書の概要と、また前回の 2 回全体申請書との主な変更点。
0:08:49	について、二つの構成させていただいてます。まず一つ目の、申請書の概要から説明いたしたいと思います。次のページ、3 ページ目をご覧ください。
0:09:00	まず本文の項目ごとに記載しておりますがここでは 123 は、特段変わるものではありませんし、代表者氏名は変わっておりますが、ちょっと割愛させていただきます。
0:09:10	本文 4 のうち、対象物の種類と、また、想定される重量について概要の説明をいたします。
0:09:18	まず、対象物になりますが、浜岡 12 号炉の解措置第 2 段階及び第 3 段階において発生する解体撤去物となります。
0:09:27	申請重量は 6856 トンとなっております、1 号と 2 号の内訳は記載の通りです。
0:09:34	また、材質は、金属で主に炭素高となっております。
0:09:39	また系統といいますか種類ですけれども、タービン設備のうち、旧復水系冷却水系、また冷却海水系統となります。また原子炉設備につきましては、S/C の関連設備、非常用心冷却系統となっております。
0:09:56	また、廃棄物処理設備につきましては固体廃棄物処理系統。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:00	またこれ設備ではございませんが複数の系統に跨る、ものとしてですね、サポートを支持構造物ですね、あとケーブルトレイ電線管現場盤ラック、こういったものを申請対象としてございます。
0:10:13	また対象外としてのももございまして、大型金属、タービンや発電機の車軸ですね、また、オフガス系、こちらは対象外としてございます。
0:10:26	またいずれの対象物につきましても、1号炉の原子力、原子炉格納駅の外にあるものでして、配置計画にはですね、原子炉領域周辺設備という定義のなっております。
0:10:41	次のページをお願いします。
0:10:43	4ページ目です。
0:10:45	こちらは本文4のうちの、汚染の状況について説明したものでございます。
0:10:50	まず汚染の状況を形態としてはですね、放射化汚染と二次的な汚染を想定しています。
0:10:56	まず、放射化汚染から説明いたします。
0:10:59	放射構成につきまして浜岡12号炉の解体撤去物を対象とした、三つの中性子線、直接線ストリング線、N17銭。
0:11:09	これの放射化補正による放射濃度を評価しております。
0:11:13	評価した結果ですね、放射合成における主要な核種は、浜岡1号2号ともにコバルト60あると評価してございます。またこの結果は、前回の申請書の評価結果を活用してございます。
0:11:27	また、その下です。三種類の抽選制による放射化汚染影響を代表するサンプルとしまして、コバルト60の放射能を測定いたしました。
0:11:37	いずれも結果はコバルト60の基準値の100分の1未満であることを確認しまして、放射化補正の影響は極めてわずかであると、いうふうに判断してございます。また三種類のサンプルの説明をさせていただきますが、
0:11:51	右の図となっております。
0:11:54	まず放射化汚染につきましては、元となる中性子線としては、原子炉からの直接線、こういったものを代表サンプルとしましては、12号機の格納容器の外に生体遮へい機コンクリートがございまして、
0:12:07	その性堆積の中に、鉄筋がございましてその鉄筋を、直接への代表と、ここが一番評価評価としては保守的なところだろうと、いうところでこちらを選んでございます。
0:12:22	ストリーミング線ですこちらの原子炉からの中性子線でございますが、各抜き貫通孔、例えば主蒸気配管、或いは今回のサブプレッション・チェンバのベント管、
0:12:34	と、貫通孔がございまして、そういったところからですね原子炉に直接線中性子線がすり抜けてくるようなところ、そこも当然評価点としておりまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:45	そこの代表点としては、今回の対象物であります、12号機のサプレッション・チェンバの中の一発原子炉に近い側のベント管を採用してございます。
0:12:56	三つ目にN17線です。こちらは主蒸気中に含まれます、N17からの中性子線によるものです。
0:13:05	こちらの代表点としましては、主蒸気中に含まれてますので主蒸気系統の一番近いところとしましては、格納容器横の主蒸気Msトンネル室、主蒸気とレシストものがございまして、
0:13:19	その中にあります主蒸気配管、1号では、主蒸気隔離第2隔離弁の出口側の周期配管、2号機側、第3隔離弁の出口の集計配管となっております、
0:13:32	こちらを保守的なところとして代表点として設定してございます。結果は、いずれも先ほどご説明した通り基準値の100分の1未満でございました。
0:13:43	次のページ、5ページ目です。こちら汚染の状況のうち、二次的な汚染の状況の説明となります。
0:13:53	まず、対象物の汚染の状況を代表するサンプルを選定いたしまして、サンプルでは右側の表に記載した通りです。
0:14:01	測定した核種としましては鳥居中部、またCPの代表としてコバルト60、
0:14:08	DMPの代表としまして俊一様の分析を、放射化学分析を行っております。分析した結果でございしますが、取り中がすべてのサンプルにおいて、検出限界値未満となりました。
0:14:22	また分析結果、コバルトとセシウムは、セシウムのコバルトという比率をとって、整理してございまして、どちらの核種が主体であるかというのを確認するためにこの横の比率をとっているものでございます。分析結果は、いずれも記載の通りです、
0:14:38	コバルト60の方が多いということを確認してございます。
0:14:42	また、トリチウムの結果につきましては、右側の表の下に米印でふってございます。こちら表面汚染密度で測定したものでございますが、
0:14:53	こちらは放射能分の汚染の程度として、どの程度かというものを推定したものであります、トリチウムの放射能としてはですね最大の検出限界値の表面汚染密度に、
0:15:06	今回の対象物の中で考える一番、最大の表面積をそれぞれ乗じてですね、放射濃度を算出しまして、その結果としては、トリチウムの基準値の1000分の1程度。
0:15:19	5となっておりますので、影響は極めてわずかであるということを確認してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:15:24	また左側の方に戻りまして一番下のポツですけれども、除染後、大野木場と60の放射濃度と、これが実態の放射能確認対象物の中で、一番起こり得る汚染の状況かと考えております。
0:15:39	こういったものをサンプルとしまして、放射濃度の測定、こちら表面汚染密度を測定して、対象物の表面積を算したものでございます。
0:15:50	ここでも、表面を測定した表面精密の中でも、最大のものと、対象物における最大の表面積を乗じまして、結果としてはプラス下回ることを確認してございます。
0:16:04	補正の状況説明は以上となります。次のページにいきます。
0:16:09	ページ2目、評価に用いる放射性物質の種類の説明です。
0:16:15	先ほど汚染の状況の方で説明させていただきましたが放射化汚染の影響は極めてわずかエアールと判断してございます。そういったところから、二次的な汚染を対象に評価に用いる放射性物質。
0:16:28	以下、ここで評価対象核種等によりまして、評価対象核種を選択いたします。
0:16:34	また対象物の台数は金属でありまして、審査基準に定める33種類の放射性物質から、評価対象核種を選択いたします。
0:16:44	また33核種の放射能動につきましては、放射化計算法、また放射化学分析法により設定いたします。
0:16:52	また設定の大津郷をトリチウムと、それ以外の32拡張を分けて評価いたします。
0:16:58	鳥居チームは、先ほどの汚染の状況の方で少し説明させていただきましたが、評価した結果は極めてわずかであるということを踏まえて、今回評価対象核種の選択において考慮必要はないと。
0:17:10	つまり、32核種から選択するというふうに判断してございます。
0:17:15	一番下でございますが、トリチウム以外の32核種の放射能動につきましては、2019年ごろに認可いただきました、先行事例の濱口2号の解体撤去物、こちらで設定した32核種の、
0:17:29	放射能濃度を採用いたします。
0:17:34	次に、7ページ目でございます。選択結果となります。放射濃度をから、磁場Cの比率を計算いたしました。
0:17:44	浜岡12号炉ともですね、コバルト60が第1の企業でありまして、全体に対する32核種に対するコバルト60の比率としては、
0:17:55	浜岡1号で91%、2号炉では92%となっております。これは2023年8月1日という申請書上の基準日とさせていただきますが、
0:18:05	その時点での評価結果となります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:08	また、次のポツですけれども、2034年4月1日、これは廃措置の今、認可いただいている廃措置計画の最終の日付が2036年度までとしておりますので、
0:18:21	その次の日といいますか、2037年の4月1日での状況も確認してございまして、その結果12号ともですね、コバルトが第1であることは変わりませんが、
0:18:33	比率としては90%を下回ってございます。従いまして90%以上となるように、DPCの大きい順から選択いたしまして、
0:18:43	浜岡1号炉ではカーボン円とセシウム、2号炉では、摂取とカーボン、順番が変わってございますが、こちらは停止期間、最終停止日の期間によって減衰の効果によって変わっているものでございます。
0:18:58	以上を踏まえまして、浜岡12号炉とも評価対象核種は、勾配等をカーボンセシウムコバルトセシウムカーボンの3核種をいたします。
0:19:09	次のページをお願いします。8ページ目です。
0:19:13	評価単位の説明となります。
0:19:15	対象物を専用の測定容器に収納いたしまして、料金の中の線容積部分を評価単位といたします。
0:19:24	また、線容積部分を仮想的に8分割しました。各ブロック1ずつを測定単位といたします。
0:19:32	また、汚染の程度が大きく、異なるものを一つの測定単位とならないように、対象物の表面汚染密度を確認しまして、0.8未満であることを確認し、その測定容器に収納いたします。
0:19:47	評価単位重量をとしては10トン以下とします。ただし実際の運用では収納重量上限、これは容器の耐荷重等を考慮しまして、現行も同じですが、1.6トンを上限の目安といたします。
0:20:02	次のページをお願いします。9ページ目になります。
0:20:06	放射能濃度の決定を行う方法になります。
0:20:09	評価単位における評価対象核種の放射能度は、測定単位の放射線量、合計いたしまして、評価単位の重量で除して求めます。
0:20:18	また放射線測定の結果ですねコバルト60が検出された場合につきましては、検出値に標準偏差の1.645倍を加えたものを、
0:20:28	評価に用いる放射能濃度決定に用いる放射線測定装置といたします。
0:20:33	また検出限界値未満だった場合はその検出限界計数率を、放射線測定装置と、測定値といたします。
0:20:41	また評価対象核種のうち、コバルト60につきましては、先ほど申し上げた通り、上記のように求めまして、用いる放射線測定装置としましては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:53	コバルト 60 が $\gamma$ 線放出する放射性物質であることを考慮しまして、汎用のゲルマニウム半導体検出器を用います。
0:21:02	また測定単位のコバルト 60 の放射濃度は、測定単位のコバルト 60 放射エネルギーを測定単位の重量で除して求めます。
0:21:12	右側のカーボン摂取武藤カーボンの放射能濃度につきまして、こちらは、あらかじめ核種組成比を設定いたしまして、設定した核種組成比と、
0:21:22	左に求めましたコバルト 60 の、測定結果を用いて、各蘇生法で求めます。
0:21:29	またそれ、それぞれの核種組成比につきましては、2023 年 8 月 1 日時点で設定した値をそれぞれの評価日に減衰補正して用います。
0:21:39	またこの核種組成比につきましては、分析値をもとに設定してございまして、分析値の統計的な分布を考慮いたしまして算術平均値の 95% の上限値で設定してございます。
0:21:52	次のページをお願いします。
0:21:56	ページ 2 ページ目となります。放射線測定装置の種類及び測定条件についてです。放射線測定装置の種類としましては、主要な核種コバルト 60 については、 $\gamma$ 線を放出する放射性物質であることを考慮しまして、
0:22:10	汎用のゲルマニウム半導体検出器を用います。
0:22:14	また、補償の換算係数の設定、一つのパラメーターとなる、表面汚染密度につきましては、汎用の GM 管式サーベイメーター、プラスチックシンチレーション式サーベイメーターを使用いたします。
0:22:29	また測定条件は記載している通りでございまして測定場所周辺のバックグラウンドの状況、放射能換算係数、検出限界値、測定時間、点検補正、また不確かさを考慮いたします。
0:22:42	まず測定場所の周辺のバックグラウンド状況としましては、測定場所における周辺における測定単位以外からのコバルト 60 の $\gamma$ 線の計数率、
0:22:52	こちら以下 ppb と称します、を考慮いたします。
0:22:57	また、測定場所の周辺の攪乱の影響を考慮する必要があるかということを確認するために、各測定期間の前に、ピーク日時を測定いたしまして、ppb の有無を確認いたします。
0:23:11	次のページをお願いします。11 ページ目です。
0:23:14	測定条件の続きになります。放射能換算係数です。
0:23:19	当社の完全ケースはゲルマニウム半導体検出器で測定しました $5 \times 60$ の計数率と、放射エネルギーを対応づける換算係数となっております。
0:23:29	また測定単位のを仮想的に均等な小隆起に分割いたしまして、少量行き当たりの放射エネルギーを保守的に設定いたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:38	測定単位の放射エネルギー算出方法及び少量行き当たりの放射能設定方法は、下の枠組みに記載したところでは、
0:23:47	まず、放射エネルギーの算出方法としては左側の測定単位のモデルと記載しているところでは、
0:23:55	丸一番最初に伊勢、線容積部分を仮想的に処理分割いたしまして、今回表面汚染密度をですね、一定値以下、0.8 以下に管理して活用いたしまして、
0:24:07	奨励金に他与える一定の放射能を割り当てます。
0:24:11	商流当たりの放射能の求め方は、右側の記載している通りでして、小隆起の放射エネルギーというものは、 $A \times B$ 掛ける $C$ 陰りとなっております。
0:24:21	$A$ は表面汚染密度、 $B$ は表面積増し若狭密度、電話処理機の堆積となっております。
0:24:28	また左に戻りまして、最初にですね、汚染の放射エネルギーの分布の設定の仕方でございますが、最初にすべての奨励金の放射エネルギーゼロとしてございます。
0:24:39	そのあと換算係数が大きい症例からですね、順に、省略当たりの放射エネルギーを割り当てていきます。
0:24:47	また放射エネルギーを、換算係数が出ていくと、計算上係数計数率が求まりますので、その計算値の計数率が、実際の測定の計数率、これはこちらは評価に用いる計数率、
0:25:00	一括するまで、累積の放射エネルギーを測定単位の放射エネルギーといたします。
0:25:05	このようにして測定単位内の放射能分布を考慮いたします。
0:25:11	次お願いします。12 ページ目、測定条件の続きの中の、検出限界値となります。検出限界値は、ケース 1 の統計的な誤差を考慮いたし、してもですね、小疇 60 の DC が 1 以下であることを判断できるように、
0:25:26	0.05 ベクレルパーグラム以下といたします。
0:25:30	またこの 0.05 ベクレルパーグラムで、 $D\%C$ が 1 時間を十分判断できるかどうかということ、下の表で示してございます。
0:25:41	まず、収納状況を、下の表の何時から 8 にあります通り、それぞれ容器の種類、測定単位の重量高さを設定いたしまして、換算係数を作成いたしました。
0:25:54	その結果ですね DPC、コバルト 60 が 0.5 となるような、検出限界計数率を算出いたしまして、そちらを表に記載してございます。
0:26:04	その 0.05 となる、検出限界係数についてですね、これを検出値とみなして、 $1.645\sigma$ 加えた計数率を、一つ右側の表に記載してございます。
0:26:17	こちらの計数率と、本社の換算係数を用いて DPC コバルト 60 を、算出結果が一番右の表となっております。こちらの表すべて、1 以下となっておりますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:30	検出限界係数、検出限界値としてですね、上で記載した通りですね、0.05 ベクレルパーグラム以下であれば、十分クラスレベルを判断できるというふうに判断してございます。
0:26:43	続きまして、次のページ 13 ページ目となります。こちらの測定条件の続きの中の測定時間となります。
0:26:51	測定ごとに係数限界値を評価いたしまして測定単位において、検出限界値で 0.05 ベクレルパーグラム以下となるような測定時間を設定いたします。
0:27:02	次に点検校正です。1 年に 1 回定期点検を行います。また定期点検では放射線測定装置の点検校正を行います。
0:27:10	次に不確かさです。測定条件に背測定値の設定に関する不確かさといったしまして、放射能換算係数を考慮いたします。
0:27:21	また放射能換算係数の不確かさとしては、記載している通りの項目に対して保守的に考慮して設定いたします。
0:27:31	続きまして次のページ、14 ページ目となります。
0:27:35	最終物の保管場所及び保管方法についてです。
0:27:39	まず対象物の保管場所であります。ご監修のエリア、また、測定地理や測定りや確認待ちエリア、今回設定しますエリア四つございます。
0:27:50	それぞれのエリアでは、異物の混入及び放射線物資による追加的な汚染を防止するために、以下、記載する措置を講じます。まず一つ目です。
0:28:00	保管、収納エリア、それぞれのエリアでは、他企業へ制限を行うためにエリアの区画及び標識の掲示を行いまして、出入口を施錠管理いたします。
0:28:11	次に放射能対象物を測定容器に収納してから、放射能の測定、また測定終わってから国の確認が終了するまでの間、測定容器の測定以外の間ですね、解放されていないことを、FAIにより確認し、
0:28:26	名物購入の防止経営を行います。
0:28:29	また建屋汚染の恐れのある管理区域から反した以降は、追加的な汚染の恐れがある場所を通過しないように、運搬の経路は容器の運搬経路となります。
0:28:40	選定いたします。
0:28:43	またそれぞれのエリアでは、異物混入及び追加補正の防止を講じるとともに、測定合格の確認が終わるまでの間は厳格な品質管理を行います。
0:28:53	右側にエリアのそれぞれの管理地区を記載してございますが、説明を割愛いたします。
0:29:00	次に 15 ページ目、本文 10、品質マネジメントシステムに係る話でございます。まず測定及び評価に関わる品質保証の体制を、審査基準要求し、事故を踏まえながら、保安規定等に定めます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:14	測定評価並びに対象物の保管管理を高い信頼性を持って実施しまして、これを維持、また改善するための品質保証活動を次の通り実施いたします。
0:29:26	体制としましては社長トップマネジメントとして構築いたしまして、体系化した組織及び文書類により、測定及び評価のための一連の業務に関わる計画実施評価及び改善の個別プロセスにつきまして、
0:29:41	それを実施するための、品証計画を定めます。
0:29:45	また対象物の発生から分別、測定評価、管理搬出の一連の管理となりますが、それらの記録の作成、及び保存。
0:29:56	並びに不適合発生時の処置を行う際には、品質保証活動を実施しまして、測定及び評価、また保管、管理に関する業務の信頼性を確保いたします。
0:30:08	また、下、保安規定、品質保証規程、及び品質上計画書を並びにこれらに基づく下部規定に、品質マネジメントシステムに関する事項を定めて、実施するとともに継続的に改善していきます。
0:30:23	次のページをお願いします。
0:30:27	以上が概要の説明となりまして 16 ページ目から前回の主な変更点を説明したものでございます。
0:30:36	左側、一番左は本文の項目、真ん中に前回認可いただいた申請書、右側に今回の申請書の内容を記載してございます。本文 123 は割愛させていただきます。本文 4、対象物の種類としましては、発生時期、
0:30:53	が、前回排水第二段階の中でも主に前半としてございましたが、今回は第 2 段階及び第 3 段階に発生したものととなります。
0:31:03	対象物は重複してるものはございません。重量も、今回改めて選んだものですので、中にも変わってございます。財津につきましては主に端側というところは、変わってございません。
0:31:16	金属で主に観測は変わってございません。また設備につきましても、タービン原子炉等から選んだものでございます。
0:31:24	細かな系統は先ほど概要説明で示した通りでございます。また、今回大型金属機器を除いていることを、またオフガス系を対象外としてますがこれも前回も同様となります。
0:31:37	また、原子炉格納容器外の設備であることも、前回も今回も同様となっております。
0:31:44	また本文 5 評価に用いる放射性物質ですが、前回は、放射化汚染と二次的な汚染それぞれで評価対象核種を選んでいきます。
0:31:54	放射構成につきましては、旧規則であります重要 10 核種。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:58	二次的な汚染につきましては、その 10 核種にカーボンを加えて 11 核種と前回はなっております。
0:32:04	今回につきましては、二次的な汚染、これ放射光性の影響が極めてわずかであるという影響を踏まえまして、そこから人的な汚染を選んだものでございますが、結果としては、1010 核種という形でなくなっておりますので、
0:32:19	DPCの大きい順から選んでですね、コバルト、セシウムカーボン、この 3 核種を選んでございます。
0:32:25	次のページ 17 ページ目です。本部の評価単位です。こちら専用席部分評価単位とすることや、その分、専用席部分を、
0:32:36	8 分割することを、それを測定単位とすることは変更ございません。
0:32:41	また変更点としては評価単位の重量 1 トン以下という形に対して今回は 10 トン以下となっております。
0:32:49	ただし収納需要上限は、見やすいついていうこととします。前回につきましては、1 トンを超える場合につきまして最大 1.6 トンとなっておりますので、
0:33:00	その容器の中で二つの評価単位を作ることがございました。ただし今回は、1 点を超える場合であったとしても、一つの評価単位のみを設定いたします。
0:33:10	また測定容器につきましては、大きさが縦横は同じですが、高さ方向が異なる 3 種類の容器を使っておりますが、
0:33:20	運用を踏まえてですね、O型を使うことが、現実的に一つもありませんでしたので、今回の申請書、今回からはですね、大型を除いた標準トレイの二つの種類を使用します。
0:33:35	次の本文 7 です。
0:33:38	前回につきましては、放射化汚染に関する評価対象核種もございましたので、放射構成につきましては、あらかじめ放射化計算した結果を用いて、放射能濃度を決定してございます。
0:33:50	ただし今回は放射化汚染の評価対象核種ございませんので、そこはありますよ。
0:33:55	駒谷関野線は前回につきましては、コバルトは放射線測定法これは、今回も同様です。
0:34:02	トリチウムにつきましては重要 10 核種でありましたので前回評価対象が副長をしてございますが、その際は平均放射能の方で設定してございます。今回はございます。
0:34:13	その他核種としましては、重要 10 核種残りのトリチウムコバルト以外の 1010 核種と、またカーボンが入っておりますが、それを各組成表でございました。今回につきましても、SCMカーボンは核種組成比法となっております。こちらは変更ございません。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:30	次のページ、18、18 ページ目です。本文 8、につきましてははおおよそ、ほぼ同じ同様であり、ありますが、前回放射能換算係数の設定に用いる表面積として、
0:34:43	対象物の表面積から、グループを二つ分けてございました。グループ 1 とグループ 2 でグループ 2 が、4.1 でありましたが、今回の対象物は変わってございまして、
0:34:56	今回の対象物で最大のグループにしますと 2.7% ありましたので、そのグループ 2 の値が変わってございます。
0:35:04	また補助の換算係数の設定方法につきましては前回と変更がございません。
0:35:10	また今回追加したところとしましては、測定場所周辺のバックグラウンドの影響を考慮しない場合、まずは影響を確認するんですが、その結果影響がないというふうに判断したものについては、
0:35:23	影響を考慮しない場合の対応を明確化してございます。
0:35:26	また前回もですね放射能換算係数の不確かさを考慮してございますが、申請書上ですね、今回不確かさに関する要件、詳細な事項、汚染の低不確かさの程度、
0:35:40	詳細内容を記載してございます。
0:35:43	また保管管理本文中ですが、前、ほぼ同じであります、前回につきましては、確認申請に関わる記載がございました。
0:35:54	経年変化の関係でございますが、コバルト 60 の半減期内としてですね、実質的に 1 年以内で、国の確認指導を行うという記載がございましたが、
0:36:04	今回その国の確認申請に関する、記載は記載してございません。
0:36:09	ただし異物混入防止、追加汚染防止措置には変更がございません。
0:36:14	本文 10 に関する内容です。こちらは旧規則になりますので本文中というものはございませんが、当時も本文 9 に品質保証に関する内容を記載してございました。
0:36:26	今回改めて本文中として測定評価、またその一連に関わる業務に関して品質まで 2 年とシステムに関する内容を記載してございます。
0:36:37	以上で概要説明は以上となります。
0:36:41	もうあっちと 3 ですが、
0:36:43	もう一方の方がこっちのやつは、大体わかったんで、時間も限られてるんですけど、確認してきましようか。
0:36:51	はい。
0:36:58	確認なんですけど後のこのページのこの本文の、
0:37:05	4、一つ、1 個、あとその一番最後の
0:37:09	前回認可申請長の大村。
0:37:19	お作法の話なんですけど

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:37:23	確認対象物は何なんですっていうときには、
0:37:28	はい卒計画の認可申請書ベースで、
0:37:31	す。
0:37:33	登録してるんでしたっけ。
0:37:35	要はその
0:37:38	第二段階と第3段階で、うん。発生してる物があって、多分廃止措置計画の認可申請書ベースで設備名を登録してるんだけどその、
0:37:51	前回と19施設対象物なしっていうことなんだけど、申請書としては同じだかわかんないわけですよ。
0:38:00	だからそ、そこってその、要は電力さんしかわかんなくてその今回の認可対象申請の物っていうのは何なのかっていうのか。
0:38:11	電力さんしかわからない状態になってるんですけど、これが多分その廃止措置計画の認可申請書ベースで識別してるから従ってその
0:38:22	タービン設備という登録しかない。だから、タービン設備タービン設備を、
0:38:29	前回もやっていて、今回もやっています。
0:38:33	じゃあ何で識別するのかって言ったらその第2段階、前半なの課題。
0:38:38	3段階なのかっていう段階の切り分けで、
0:38:42	説明してると思うんだけどそこは多分電力さんしかわかんなくて結果はその、何が対象設備なのかっていうのがいまいよくわかってない状態確認申請になって多分初めてわかるような、
0:38:56	感じだったと思うんですけど、ここって何かど同意を迫になってんですか。電力の河合です。まず、対象物の選定といいますかは、一つですね、廃措置計画では、
0:39:09	対象物の汚染の状況としてですね、対象物の汚染の追えるさんなのか、組み合わせたのか、マイルなのかそういったところの汚染廃棄物の分量を計算する際に、
0:39:23	我々普段使っています対象物の機器ごとには、一つの機器IDというのがございまして、そのPIDには号機だったり、系統の情報、或いは区分、ポンプなのか何なのか、或いは、
0:39:39	個別の番号が振られておりまして、その番号を全機器浜岡12号炉で整理されています。その中から、
0:39:49	それぞれの機器に対して、汚染の表面性水だったり、大配筋の第一段階で表面汚染密度放射濃度を推定してございます。その結果をもってですね、それぞれの何万機器でございしますが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:03	それぞれの機器IDごとに、重量等、これがL3なのか繰合せなのかっていう、放射能の評価結果が記載してございまして、それをL3L2L1 クリアンスNRで分類すると。
0:40:16	はい措置計画で記載しているような廃棄物の分類ができ上がるということになっておりまして、我々は、どの、今回も前回も一緒ですけれども、
0:40:26	対象物をどのように選定してるかと言いますと、機器IDで設定してございまして。そのPIDから、それには対象物の場所の情報だったりとか、ああいうのもありますので、まずは機器で整理している。
0:40:40	その結果前回は、特に選んだものとしてはですね、主に前半だったと。
0:40:46	ということですね今回は、その対象物時間重複してるものはないという意味合いでして、そういったものをですね、今回改めて選んで、それはいつ発生するかという、第二段階第3段階だと。
0:40:59	いうことを踏まえてこのような記載をしてございまして。もし提示するとすると機器IDとかそういうものになるかなと。
0:41:07	考えてございまして。
0:41:10	ふーんとそうなんで、規制の当初との関係でいうと、IDなんていうのは出てこないもんですから、
0:41:19	何て言うのかな。だから、
0:41:22	前回は、何を認可したのかちょっと不透明なんで結局その、
0:41:27	前回の認可の内容であっても、今回のものが申請できちゃうんじゃないのっていう、
0:41:34	要はその機器IDの縛りとかかけてないのですから、別に書きっぷりとしては前回の認可で、
0:41:43	今回の認可の一部も申請したとしても、柏、問われないんじゃないですか。っていうこと認識は合ってますね。
0:41:51	庄子梅川です確かに申請上なかなか覚えにくいところがございまして、申請書上では、前回認可いただいた対象物は、含まないというような記載はさせていただいてます。確認。
0:42:06	申請のタイミングでございまして、そのあとの現地すいません、チーム検査とですね原子力規制検査等では、その対象物の記録機器IDの番号だったりとか、
0:42:19	そういうところを、ある種ご確認いただいとるところで、長フウがあっても、今回は問題ないと思ってるんですが、そもそも対象物は、
0:42:30	今の認可いただいたものは、前回認可いただいて前回の認可申請書を、まだ先ほど冒頭の佐田さんのご説明あった通り、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:40	まだ終わってないというところもあってまた、運用継続しますので、その申請書で 定めた対象物は、その申請書で継続的にやっていきたいと、今回の、
0:42:51	申請対象物は重複する、重複してしまうと。
0:42:54	前回等が今回何かそれこそ確かにわかりにくくなりますので、申請地を、今回のもの の含まないとして、明確化したと、というような位置付けだと、我々ちょっと思ってます。 藤President。
0:43:08	そうだと前回の確認申請終わっ。
0:43:12	終わってないんですかね。ですね、第5回のチーム検査終わって今、規制庁さん の方で結果をまとめられてるのかなというふうに認識してます。
0:43:26	オウムこっちだ。前回、終わってないみたいです。なんで、荒です。
0:43:33	これが始まるのではない。
0:43:36	ということは動いているというふうになる。
0:43:38	中部電力の川井ですがその通りです。
0:43:42	測定器は、共用するわけですね。はい。
0:43:47	スポツを、
0:43:49	は、
0:43:51	認可申請としては構わないんだけど、
0:43:57	です。
0:44:06	方針して、今言ってるのは、して、
0:44:10	それから現場も入るものです。
0:44:13	で、
0:44:15	システム。
0:44:18	要するに上書きする。
0:44:20	中電の河合です。その辺のやり方も検討はしたんですが、
0:44:25	いろいろ、常にですねまだ今日も測定作業したりですね、ずっと運用は続い ますので、
0:44:33	仮に前回の対象物を今回のものに入れて、認可を取るってなるとですね、いろ んなデータの再整理だったりとか、或いはいずれですね認可をいただいた場合は、
0:44:45	今やってるような中10核種の測定という評価がいらなくなりますので、
0:44:51	運用の継続なんか難しくどっかで規定ができてしまって、泊、場合によっては、作 業中断とかですね、そういうところもありますので、一旦分けることがいいのではな いかというような考えです。
0:45:05	もちろんおっしゃる通り、まとめることは現実的にできないわけではないと思いま す。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:10	説明してるのは、
0:45:12	なんつって沿って、評価方法が違うわけですよね。はい。ということは、それ以降、間違いじゃないですけど、そういうことは、品質保証とか何か書かれてないじゃないですか。
0:45:24	大丈夫なんでしょうけど。
0:45:26	逆文書。
0:45:27	注入係ですまずですね対象物ごとに先ほど申し上げたそれぞれのIDが振られてまして、それを収納記録に、我々の作業の終了した時の作る記録に記載してごさいます。
0:45:41	それベースで、測定容器にAの番号を付番してごさいます。従って番号を見ればですね何が入っているのか、それがあある種の新開いただけの場合は今回のものなのか。
0:45:52	前回のなのか今回どうなのかっていうのは、識別できますので、容器の番号で示してきます。我々次、祖父が測定した結果はですね、ある程度システムを使ってごさいますので、
0:46:07	システム使うときにも、前回の重要 10 核種にカードを入れたもので評価するの か、今回の仮に今の現行の認可の、小浦とか小野瀬主務なのかっていうのは、システム上切り分け率も、
0:46:18	識別率もごさいますので、記録だったりで明確しようと思ってます。
0:46:24	鎮目カワサキそれは要するに、間違いのないようなそういうシステム上そうなってるんです。これは前回のイベント展開になって、これは北海道ですっていう意味で言うと、今回になるということです。
0:46:38	市民は、まだシステムができてごさいませんが、今は現行の運用はそのままできるんですが、そのシステムに、今回認可いただいた内容を入れ込みたいなと思 ってますんでそのシステムは、
0:46:50	自前のような中 10 核種を選んでそれから選ぶというよりかは、もうコバルト下部セシウムだけの結果になるように、評価をいたしますそういったシステムを組もうと思 ってます。
0:47:03	まさにその
0:47:04	動かちゃんとそのお互いのために、大手でも多分確認しちゃったほうがいいと思う んすよ。多分そのパラで走るもんだから、
0:47:12	QMS上その、
0:47:14	一番間違えやすいのその、
0:47:17	今回の申請等、前回の申請でポチッとおっしゃった方針出しちゃいましたって、多 分わかりやすいライン。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:24	だって、前回のやつなんだけど間違っって今回のやつで工期をちゃんと出しちゃいましたとか言ったらまた。
0:47:32	ルールが前回と今回違うもんですから。
0:47:35	従ってそ、そこをまず、QMS上ちゃんとその、
0:47:41	しっかりきや、もし原で走るっていう特性安打せいと。
0:47:46	そのの切り分けその対象物を今回なのか、前回なのかをどう意識で作るのかそれで放射能を出すのを今回のと前回ののでちゃんともう、
0:47:58	切り分けて、誤りの第四部に、
0:48:02	申請されて、確認申請が出されるののって社内システムどうなってんですかみたいなのは、
0:48:09	ちょっと会合でもちゃんと確認したほうがいいかなって。
0:48:13	思い始めましたと。多分それは、
0:48:17	スウェーデンでも大会等ができて、今はちょっとやってないんだけど今後認可された暁が隠し出した方やってやってますとか、ちょっと開いてお話をうらうちゅうこと。
0:48:28	なるほど。ちょっとそういうのって、一つとしてあるかな。
0:48:34	わかりました。
0:48:40	船水のID、どのぐらい今回の退職者、そのぐらいあるんですか。ですね、一つは一つの動きが1万何千円ぐらいですかね、今回のだけでもはい。
0:48:57	申請書とかどうしたの。
0:49:02	何だ、これ仙田、SPA。
0:49:04	第二段階作って書けばいいんですけど。
0:49:09	それとも
0:49:10	だんだん中では
0:49:13	今回と前回は何で識別してるかっていうと、
0:49:17	セッティングされたIDがあって、機器IEで、
0:49:21	前回もあったのか、今回また家自体としては強いですよ。
0:49:27	これはその認可申請の図書においてどうかけるかっていう問題でしかないと思うんですけども。
0:49:33	そこは議論されたんですか。
0:49:36	そうです。川合です。少なくとも今取り違える用のエラーってというのは絶対あってはいけませんので、式にすること自体は当然でして、申請書、
0:49:49	ベースでは確かに、今回はですね、前回と含まないということで、ある種、重複するような少数ところがあるとですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:59	そっちがどっちなんだっていう話は明確に書かないといけないと思うんですが、今回直してないということに記載していれば、今回限りでは確かに、
0:50:11	重複しないというか、資金逆に識別っていうのは我々の中では当然識別してございますが、
0:50:17	申請書はそこまで参らないのかなというふうに考えました。
0:50:22	伊藤さん来てリーダーとしてはその機器番号何番課題No.大分あるということであってそれを申請書に書いてもらう必要はないと思うんですけどその。
0:50:34	基本方針ぐらいは宣言してもいいんじゃないですかね。要はその、
0:50:42	あそこも何か表の場で議論したいところもありますけど
0:50:46	結局第二段階と第3段階、尻別でまさに今さっき話聞いたところに、土台に、前のやつと今回やって放射能の出し方とかいろんな条件も違うということなんで、
0:50:58	どうやって切り分けるかって。
0:51:02	ここを確認すんだとちょっと実態としてはその危機。
0:51:05	IDで管理していて、それを、
0:51:08	誰か、誰かさんがその、
0:51:11	ちゃんとこっちがですね違うですね、確認して、誰かさんがこっちがするのかわいするのかわか、
0:51:19	確認申請するっていう。
0:51:21	ことなので、その後、
0:51:23	いいわけ。
0:51:25	何かをしても、
0:51:29	今回対象じゃない段階で10前回と実績がない。
0:51:35	機器IDの不安を確認して、
0:51:40	今回、はい。
0:51:44	ご安全に書く。
0:51:46	とかそういうのが一案としてあるのかなという。
0:51:50	いますけども。
0:51:51	ちょっとそういうのも、何か介護で、
0:51:54	確認させてもらいたいと。そうすると何か不都合ありますか。
0:51:58	不都合当然ございません。一つの今、もしっかり入れ、申請書に入れるとなった場合ですけれども。
0:52:09	管理事項ですね、保管管理、保管場所及び保管管理事項のところの、一つの管理事項としてですね、収納する際の確認事項、これはPIDはもう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:21	経営対象物測定容器に入れますので、測定容器ごとです、同じものがこの他のものが混在したら困りますので、その容器を収納する際の管理事項として、
0:52:32	前回の機器IDを確認して、前回のものなのか今回の何かをしっかりと確認するというような管理事項を申請書に記載したいと思います。
0:52:47	奥津家なんかわかるんですか。
0:52:55	配分を、爾見通の活動が明確になるという意味ではちょっと意味あると思うんですけども。
0:53:01	一旦が弁当。
0:53:03	大丈夫ですよ。同じ名前で行って、
0:53:08	何が違うのかなと、前と谷井が違って今回の申請があって、或いは何が使えて、使えないっていうのはあまり一緒に、実は実はITで区別してます。
0:53:20	それ以外とそれでちょっと言われてもわかんないですよ。
0:53:24	それがわかる。さっき方針とおっしゃったのは、多分その何か前回、今回のものが違う。それを端的に表す言葉がないと。
0:53:35	以上ないと、何が違うわからない。
0:53:39	何が違うかがわかるような、
0:53:42	表現を加えて欲しいんです。
0:53:45	日比野河井です。
0:53:48	おっしゃる通りわかりました具体的にどのような記載が適切かってのはちょっと考えさせてください。はい。
0:53:56	柿木です。もちろん確認は申請書通りにやってることの確認なんで。
0:54:03	多分その確認ができないと。
0:54:06	難しい。
0:54:10	布川委員。わかりました。確認申請は確かにそ設定評価の認可申請通りにやられてることでその結果の確認ですので、申請小確認申請書の時にはですね
0:54:23	今回の議論の場ではないかもしれませんが、確認申請書の冒頭にですね、認可等の認可申請書を記載するという事になってございますので、
0:54:33	ある、測定したものについては前回のものであれば、前回の認可申請書のことを記載して、今回のものであれば、今回の認可申請書の認可をいただいた内容を書いて、その認可主従ったものですよというような、
0:54:49	確認申請の最初の冒頭はそうしようと思ってます。
0:54:54	物ですね。はい。はい。多分きちんとできれば、
0:55:02	今話しても、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:06	結局その外全開でやるのか、今回でやるのかっていうのはその路線の状態で切り分けるとかじゃなくて、
0:55:14	単にその解体の順番
0:55:17	でやってんじゃないですか。つまりその、
0:55:19	さっき、タービン、
0:55:21	前回はタービン設備で今回は設備でございます、
0:55:26	その機器番号で切り分けるって言って前回と今回何が違うのかっていうのを書くっていう話もあったんだけど、
0:55:34	かけるかもしれないしひょっとしたら書けないかもしれない、その、
0:55:38	ただ、うちがもし書くんだったら確認しないといけない加古線の状態とか、クリアカットに、前回と今回で、対象設備としては同じなんですけど、
0:55:51	実は違ってますっていうことであればその、
0:55:54	ちゃんと書かないといけないし、結局その汚染の状態が前回と今回も、
0:56:00	変わりませんと。従って設備名としてはいいんですけど、
0:56:05	廃止措置計画の確認申請上機器IDの話がある。だから前回とか、今回で抽出はないんですね。
0:56:13	ていうのを書きかえてもらえばいいと思う。ただちょっとその、前回と今回で何が違うのかっていうのを、
0:56:20	下。
0:56:21	書けるか書けないのかちょっと考えてもらって、単純に機器IDの話だけでいいのか、その、
0:56:29	押す。要は、
0:56:30	放射能濃度とか汚染状況との関係で何か付記してるものがあるのかなのかとか、ちょっと考えてもらって、その切り分けをどうするかっていう、ちょっと。
0:56:43	失格にしたいところだと。
0:56:46	日本だと、ぶっちゃけとっちゃうんですか何か違いあるんですが前回の電力のワイイです実際の切り分けとしてはですね、汚染の状況によるものではございません。いずれも格納容器の外で、放射化汚染の影響が低い。
0:57:01	そういったものを選んでございますので、あとは二次的な汚染についてはですね系統に依存するものでして、そちらも実質ほとんど同じような系統ですので、対象物が違うだけということになるんです、
0:57:14	前回なぜその回収物 7682 トンにしたかというのは、これはもう本当に社内ですね、第二段階の工事契約の中で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:57:24	解体対象としていたものを選んでございます。従って、おっしゃるように解体順序によるもの。
0:57:33	でした。その中でですね、今進んできてまして、実際思った通り状況という1かですね、やってみるとこちらの方が先の、
0:57:44	書いた方がいいんじゃないとかですね、いろんな優先順位が変わってきてまして、改めて整理すると、もう実際ですねなぜ6月イトウの中でも、今組み合わせてるのは、
0:57:56	半分まだ満たないところですよ。それよりも先にS/Cだったりとかですね、第3段階を見越したときに、この対象物も入れた方がいいだろうというのが出てきたと。
0:58:07	いうことを踏まえて、スパ選んだものになります。一言上、なかなか端的にっていうのが、長い言葉になる、なると説明は可能だとは思っていますが、
0:58:19	なかなか1寄付とか言ったら、端的になかなか難しいかなってのは直観あります。
0:58:26	なんで、
0:58:27	ちょっとこれは会合での数、何か宿題事項強いのかなと思っていて、なんで、ちょっと1ヶ月か2ヶ月ぐらいちょっと考えてもらってどういう。
0:58:37	書きぶりがいいのかみたいな。
0:58:40	ちょっと考えて、
0:58:43	湯田にできる。
0:58:47	は、日付がちよっと審査と全然関係ないんですけど、これ
0:58:54	タービンの車軸とかはやっぱできないんですか、クリアランスは。
0:58:59	久野カワイです車軸はですね、我々浜岡5号機の低圧タービンの車軸、あと4号の車軸の認可をいただきまして、今回の箱に入れて測定するものとは別にですね、切らないで、
0:59:16	そのままの測定を行う、認可の実績がございまして、車軸、タービンも辺りをその方法で、発電機は、
0:59:26	少し、ちょっと内部構造が複雑なんですけれども、そういった箱に入れるっていうのは非常に切断の作業が伴いますので、そういったものをなかなかやりにくいということも踏まえて、前回も、
0:59:40	今回もですけども、大型の車軸みたいなような回転体みたいなものは除くと、いうふうにしたものです。
0:59:48	もう李さんにしちゃう。それとも将来持って提案するかもしれない。決まったんですか。出村カワイですクリア数します。はい。
0:59:58	ただこの箱測定ではないので、今回の対象物には入れていないということです。
1:00:04	オフガス系も小クリアそっちなんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:08	船津系についてはですね前回の認可の際に当初は入れておまして、その中で、高専の状況がコバルト 60 主体、
1:00:20	であるのが、一般的な系統なんですけれども、この深津形だけはですね、V6 字が主体にならないような、
1:00:28	汚染の状況が大きく異なるものになりまして、こういったものをですね今回のような 32 核種の組成比を設定することが、
1:00:38	現時点ではちょっとできてないということもあって、入れたとしてもこのなかなかこう、それぞれ分析ベースでやることになるので、ちょっと時間がかかりそうだと。
1:00:49	ということも踏まえて、クリアんす。レベル的にはクリアできるんですけども、市の測定評価方法がなかなか定まらないといえますか。
1:00:59	特に核種選択のところがちよっと難しいいろいろ検討がいるというところですよ。
1:01:09	一つのところでですね。
1:01:13	やっぱりその、
1:01:14	土嚢のイメージっていうのは、正直ちょっと私も聞きにくいので、何か温泉みたいなものをですね、ちょっとご用意いただきたいなと思ってます。ただ、数が多分、かなり多いと思うので、
1:01:28	ちょっとどう、本当に代表できるものに絞っていただくのかそれちょっとおまかせしたいと思うんですけども。
1:01:35	それを運営に今後説明していくことを考えると、やっぱりこういったものが今回クリアランスで出ていますと、さっき汚染の状況とか基本的に系統ごとに、
1:01:49	前のんとほとんど変わらないというお話もありましたので、何かこう、建屋のその、
1:01:56	なんでしょねポンチ絵みたいなものでこの部分から、こういうものが発生していますので基本的には前との系統が一緒なので、前助教も、
1:02:06	ほとんど一緒ですみたいな、そういったそのコードの説明にも使えるような、何かわかりやすい図をですね、ちょっとご用意いただきたいなと。
1:02:15	思っておまして、これも私調査、これ会今オオシマの言ってるのは、会合資料にやってつけてないんですが、ポンチ絵で
1:02:27	入れていってないといけないんですけど、電力の河井です。
1:02:31	ポンチ絵がなかなか難しくですね、我々の出すとなるとですね。
1:02:36	かなりちょっと時間がかかるんですが、もう端的に化を簡単にやろうとするとですね、われ機器配置図でございまして、
1:02:47	リアクター度、何かいいごとの、それぞれ階層のものがありまして、それぞれ機器IDにはですね、どこのエリアのものかっていうのを記載してございますので、
1:02:59	そのエリアを抽出してですね、ここが発生するという。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:03	エリアの場所はですね、お示しできると思っています。それ以上の細かなもの ってのはなかなか、こうやるとすると配管計装図とかのものになるんですが、
1:03:17	それもすべてではなかなかないので、
1:03:20	簡単について今後それを活用できるというようなお話もあったので、配置図で あれば、例えばどういう議論ができるかという放射化汚染の、
1:03:33	代表点の話とかですね、これは原子炉から近い方が、放射化汚染の影響があっ て、それが対象物の代表サンプル選ぶときの考え方の一つになりますので、
1:03:45	機器配置図で、どこのエリアから出てくるものなんだっていうのがわかれば、そう いうところではご利用いただけるかなというのがあってですね、エリア図ではない かなというふうに思いました。
1:03:58	多分これはさっき機器IDとの監視に関連してきて
1:04:06	認可申請の中でどこまで確認するのかっていう。
1:04:10	すべての系統図のやつを確認して、これは今回、或いは前回使って確認するの かその、
1:04:21	系統図の例とかで一案くらいつけてもらって、何か、
1:04:25	やるのか、結局その何で切り分けるのかっていうのは方針としてその、何とかさん からTIPで前回と今回チェックしないんですとかだけ震災確認して、
1:04:38	それってどういうことなんだっていうので1例として、総務系統図とかで示しがある っていうのは、
1:04:45	を文化申請の中ですべてその系統図まで書いてこれは今回あれは前回っていう やるのかどうなのかっていう。
1:04:53	損してくると。
1:04:57	すごい簡単な1枚で示せポンチがあるんだったらそれぐらいは、
1:05:05	それはちょっと
1:05:07	会合でしてきた宿題の開始って、ちょっと検討してもらってます。
1:05:13	前回と今回の対象物が切り分けとか何とか説明してくださいって話をしたときに、
1:05:21	合わせん知恵を行政があると聞いて、
1:05:27	会合までは無理なんじゃない。
1:05:29	思いました。吉井向今宗代表の御知恵があれば、
1:05:36	なかなか全部が難しいかなというのが、所感でして例えば一つの系統でもです ね、同じ系統も含んでるんですが、その中で、
1:05:50	例えばこの配管が入っているこの配管は行っていないとか、或いは、今回申請、 前回申請で切り分けるものではなくて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:01	第3の分類といいますか、まだ申請してないものっていうのもございますので、その、その例を、何か一つで、前回もあって今回もある形と。
1:06:14	ていうのが一番適切かなと思ったので、その系統の一つを、代表に、さらにエリアの情報も兼ねて入れるという、
1:06:27	骨董でちょっといろいろ考えさせていただいた方が、ちょっとこの場でなかなか出てこないんですけども。
1:06:33	今回と前回で、どの場所なのかって確認すること自体にあんまり意味がなくて、どういう切り分けをしてそれは誰が確認してるのかっていう。
1:06:43	QMSの審査をした方がよくて、で、
1:06:46	確認申請の時にやらかしちゃいましたっていうことになると、それは
1:06:52	どっちかと中部電力、中国電力さんが、
1:06:56	中部電力さんが多くおられる鶴飼先生なんですよ。麻生。
1:07:02	なんかうちはその、
1:07:03	序盤サンプルぐらいの話と、PMS上どう切り分けるのかっていう大方針を確認して、
1:07:11	具体の運用っていうのは、そちらさんにお任せして、
1:07:15	やって途中で間違っちゃいましたっていうことになると、うちの方、確認した方針貸しはなくて、どっちかっていうとそちらの社内の認可申請に則った形MSかもありませんでしたっていうこと。
1:07:29	とかですね、何かそれ全部系統。
1:07:33	ないと何が違うんだっていう。
1:07:35	その図面にあんまり意味ないですよ。その意味がない、ないから、あんまり現地やってみようがない。
1:07:42	あそこはちょっとを議論しましょうか。はい。
1:07:45	中部電力のヤブシタですけども、今ポンチ絵のリクエストをいただいたんですけども、いろいろ写真を使ったりとか、いろいろアイデアはあろうかと思います。今ちょっと私思ったのがですね、機器配置図もそうなんですけども、系統を示した配管計装図。
1:08:03	ていうのもあります。系統A3の紙、紙に大勢系統全体を通してちょっと細かい部分もあるんですけども、そのその配管計装図に、今回の対象物はここですっていうのを例えば赤で。
1:08:19	収支をつけるとかっていうのもありかなとは思いましたのでいろいろちょっと工夫して、ちょっと考えてみます。はい。それはもうこのA3一つで、全体がこう、それ鉄塔ごとぐらいにある。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:32	010 みたいな感じで毎月、
1:08:40	去年にかけてもらってもしょうがないと思うね。
1:08:44	そうですね。あと 20 分、一度作ってみて、ご確認いただいくっていうのは、
1:08:55	いかがでしょうか一つ代表例で、すべての系統というかひとつない系統で、さらにその中でも少しクローズアップして、ここだけ。
1:09:06	だったらこんなイメージになりますっていうのを、
1:09:09	まずそれを作って、はい、お願いします。
1:09:43	バスケ規制庁さんですけど。
1:09:47	多分、
1:09:50	会報でちょっとバスケットで質問しようと思いますけど
1:09:55	今回と前回の変更した場所を、
1:10:00	なぜ変更したんか。
1:10:04	その変更内容、具体的に何だった。
1:10:08	その内容の妥当性は何なのかっていうのを、多分、
1:10:11	申請書にも結構説明されてるとは、
1:10:15	思っ。
1:10:16	そういったものを活用しながら、何杯もう 1 個説明してくれみたいな話を、
1:10:24	してみようかなと思うんで、例えばそのすごいわかりやすいとその、
1:10:29	測定容器 2 種類 3 種類から 2 種類にしたものが何ですかってことになると、
1:10:36	先生所にはないかもしれないんですけど総合型何とかかつうのはこういうもので、今までやってたんだけど、使ってもないし、今回のやつも何か考えて運用上、何か三条しましたですね。
1:10:50	なんかそういう
1:10:53	このパワポの後で
1:10:59	まさに、何つうかね、
1:11:01	放射化運転は委員会でグリッパできませぬ結果なのでそこは普通に申請書の内容なんかハイライトしてもらって説明するとか、
1:11:12	あと
1:11:15	容器が三種類だと思うんですか。
1:11:20	をちょっと確認したいんですけど
1:11:23	1 頭以下が 10 トン以下になって、
1:11:26	特定重収納重量上限が 1.6 トンであると。
1:11:31	ということなんですけど、運用としては 1.6 トンでありますっていうことでそれはそれでいいんですけど、認可としては 10 トン以下を生かしてるんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:42	1.6トン以上やったら、何かいい判断なんなのがよくわかりませんよねその。
1:11:49	この物の上限が、システム上、1.6トンしか行けないわけですよね。
1:11:54	全部鉱山その 1.6トン以上どう考えればいいのかわからないとかですね、そこはどう書いといたんですが、柘植君の河合です。1.6トン、榎狩野。
1:12:07	曖昧な記載にして恐縮なんですけど、上限の目安としてございますので、
1:12:13	現実的にはですね、よう聞いだったり載せる装置のですね、耐荷重的なものを考慮して、2トン以内にしてございます。従って容器の重量も 200 キロ程度ございますので、
1:12:28	合わせると、1.8トンなんですので入れ、後入れ売り入れたとしても、あと 200 キロ 100 キロです。ですと上限というのは、必ず超えてはいけないものでは、我々この 1.6トンではないと思ってます。ただし、耐荷重を考慮しないといけません。
1:12:46	ということで運用上は、およそ 1.6 を目指して、或いはそれ以下になるような運用は必ずします。これはそもそも料金の乗らないからです。
1:12:56	ただ審査基準上といいますか、要求としては、やはり 10トンというのはありますので、それが記載して、ただその 10トン以下と書いても、
1:13:06	本当にそれが守れるかっていう妥当性みたいなのは、以前の 4 号機の車軸等では、それぞれ評価単位の重量をすべて記載しておりましたので、
1:13:18	確実に 10トンに以下になるというところの、ある種の蓋然性みたいなのが、申請書の中で説明できていたというふうに感じていますんで、ただ今回は十分以下とすることだけだと。
1:13:32	本当に 10トン以下になるのかというところの、なかなかの蓋然性みたいなのが、審査の中ではわかりにくいんじゃないかなと思っていて、この運用の 1.6トンを目安にすると書けばですね。
1:13:45	少なくとも 10トン以下になるっていうところは、担保できるだろうというところで、審査基準の適合性みたいなのところですね、この記載をしたということになります。質問変えて、5トンは図れるんですがこのシステムは、
1:14:00	できません。言えないんですけど、今後、
1:14:08	としては 10トンまでオッケーですってに審査基準がそうだから、認可としては認められてんだけどこのシステムとしては、
1:14:16	いや、重要か。
1:14:18	授業が、放射能濃度を評価する上で全く活用してないわけでもないんじゃないですか。
1:14:25	活用してないんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:27	神野カワイです。ずっと持って与えるけども、重量は、重量が最終的に出す、放射能濃度を出す上で活用してるのかしてないかっていうと、難しいニュースです。瀬戸。
1:14:44	なんちゅうか、認可上は、ずっとOKですと、5トンでは測れないので、書かれたとしても不正確であるかもしれないわけですよ。
1:14:54	じゃないんですけど。運用上、重量計の制度としては問題ないんですけども、預金入れ、入れないというふうに、
1:15:04	しない。
1:15:07	非常に縛りが曖昧になってんじゃないか例えば認可申請で2.3トン。
1:15:15	ぎりぎり入ったんでやりましたっていうことなんで、市として確認してるのは、1.6トン。
1:15:22	前後くらいは重量としてちゃんと図れるっていうのを確認してますんで、去年に基づいた放射能濃度がそうですよね。ただ3トンとか4トンとか妥当性まで確認。
1:15:34	しないといけないのか、確認しなくてもいいのかちょっとよくわからなくて、その3トンとか4トンで測ったとする。そうそう。これは民間違反なのか何かかもよく。
1:15:47	考えておったんですけど、ドクター数が、
1:15:54	いや、何か将来装置をバージョンアップして、ずっとまではかれるようなことを考えてるんですか。カワイです考えていません。実績はもう1.6が最大ですっていうことは、装置の、
1:16:10	置き換える重要書いちゃまずいんですかね。
1:16:13	いや、全然。
1:16:16	審査基準との関係はまた別で、後にイトウって書いてあれば、物件の分ですか、ちょっと小さい基準は満足してる、OKなんです。
1:16:25	いや、単純にそう思ったんですけど。
1:16:28	電力のカワイです我々も書く際に、どう書くべきかというのは、考えた上で今のお話だったんですが、おっしゃる通り、実質1.6トンなので、1.6トンとズバッと書くこと自体は、これ何の問題もありませんので、
1:16:43	そういうご指摘であれば、もう1.6トン以下とするという書き切り、
1:16:49	それは申請基準適合性は1.6トン以下とすると書いてれば、10トン以下は満足するのは、ある種自明なので、あえて、そこまであえて10トンにしなくてもいいと思いますか。
1:17:03	現実的なベースで会議書いておく、そちらの方が、場所とかも固まりそうなお意見かなと思いましたので、
1:17:11	本当に1点後にしたいわけでもありませんので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:16	1.6トン以下と直接書いた方が、おそらくいいんだろうなというのは思いました。
1:17:22	ここも、
1:17:24	最後指摘しようかなと思っていや、1.6トン、どうとらえばいいのかっていう多分目安で書かないと死んじゃうだろうからその、
1:17:34	1.5億トン以下とするとか。金山といいますけど、その目安を1.6トンとする。
1:17:41	もう、意図するところが、
1:17:43	ちゃんとすり合わせるっていうか、
1:17:46	どういう考え方で会社でも修正の必要はないのかっていう、ちょっと。
1:17:51	パック少し足りないですか、10頭以下下がるっていう、
1:17:57	何か一つ都会かもしれないんだけど。
1:18:00	ちょっと違うかもしれない。そこ、そこは何か議論しましょうか。
1:18:06	とかいうのも気になります。
1:18:09	葛藤が。
1:18:14	3ページ、CXパスおっしゃったけど、
1:18:18	通常のケース以上の不確かさはありますね。はい。重量計は入ってない。
1:18:31	事業性の不確かさが入ってましたけど、
1:18:34	日比野河津重要系の方は入ってごさいません。これは、はい。はい。多分、カワサキです事務系の方は、確かに比べて非常に小さいからめぐるんだと思います。
1:18:45	それはいいんですけども。
1:18:47	ちょっと本社の判断ですね。
1:18:50	当社の監査ですよ、確かサカイですね。
1:18:53	もしあの関連ケースは、いわゆる対象と違うところもあって、それを補完するように、
1:19:02	保守的に設定してますっていうことなので、確かそうないですよ。
1:19:07	高さっていうのはちゃんと測定したけど、わからないんで、なんか別途上げましたっていうことなんですよ。
1:19:14	安保星の換算係数については、もうぴしっと決めちゃってるんで。
1:19:19	いろんな不確かさを、があるから、それは上限を取って、もう確かっていうことなんで、ちょっと記載が違うんじゃないかなと思いました。
1:19:30	中部電力の河合ですおっしゃっていただいたところについてですね、回収物によって変わり得るところは、その通りだと思ってまして、放射能換算係数で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:19:42	すでに[ ]を入れてやっていると。で、もう一つ検出効率みたいなものはですね、これは対象物に依存するといいますか下、譴責自体の性能としてはですね。
1:19:57	一律使う[ ]っていうところは、これは不確かさとして、
1:20:07	検出器の効率も換算係数に入ってますので、それは、ある種、不確かさとして、最大値を設定してるというかは、不確かさを考慮して[ ]を余裕見て設定してるということもありますので、
1:20:22	ある種すべてが最大というわけではなくて、ゾーン、物によっては、最大のものもあれば、他のものは、不確かさを見ながら、[ ]であったり、そういうところを考慮してございますので、
1:20:37	かな、必ずしも完全ケースが最大のものかというわけではないかなと。
1:20:45	考えてるし、
1:20:49	何ベースは、それが数だけするっていうのはカワサキですけど、換算係数っていうのはもう最初に決めちゃうんですよ。
1:20:57	阿比留カワイさんの話なんで。
1:20:59	即答上決まっちゃってるわけです。
1:21:02	全国の声をオンラインでもう決めてます。
1:21:07	限界です事前にすべてが決まるものではなくてですね、占有、ヨウキン入れてですね、その容器を測定前に、重量を測りまして、その重量がないとまず換算係数をつくれなくてですね、その後、
1:21:24	容器の蓋がですねシマ高さを取の高さを測りまして、その高さも、一つのパラメータ換算係数の設定パラメータになります。これゲルマ形式の距離に関するためです。
1:21:37	従って測定する前には作られますが、実際は測定と、当日に作られるということで、例えば今決まってるのかって言われますと、今決まってるわけではなくてですね。
1:21:47	スタートタイミング測定の前段階で決まるということでしょうか。
1:21:53	だから、どう、
1:21:55	いろいろ書いてますけど。はい。そこをLMをちゃんと切り分けて書いた方が、はい。そうですね。はい。申請は佐瀬計測上の話が入ってない。
1:22:06	すいません。はい。放射線計測上はすいません、概要説明で入れてなく恐縮なんですけど。
1:22:15	測定条件の不確かさという整理ではなくてですね、読者濃度の決定を行う方法の不確かさとしてですね概要ですと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:28	本文のですね、7 ページ。すいません。P9 ですね、ページ 9 ページ目の本文 7 に記載してございますが、
1:22:39	本部長野放射能で決定を行う方向の不確かさとして、おっしゃっている放射線測定の不確かさを記載してございます。申請書に、
1:22:49	平均された場合は 1.6 円をしたり、DNA を考慮するっていう、N 値お伝えをするっていうところを記載してございまして先ほど
1:23:01	除籍あったところの測定条件の不確かさという形で、すみません整備してるわけではなくてちょっとバラバラになって恐縮ですが、
1:23:09	関連係数は、測定条件に関わる確かさという整理をして、放射線測定の方は濃度決定の方の不確かさとしてございます。
1:23:30	係数特定ではなくて、
1:23:33	ちゃんともしくは申し上げたい。これね、考えんの。
1:23:37	いろんな要素を全部含めた物測定が不確かさとしての標準技術関連よろしいですか。
1:23:44	放射線計測の、測定した値のバックグラウンドだったりとか、そういうところの不確かさです。先ほどカワサキの方が例えば表が、第三部の機械から延べ利用の話がありましたけれども、
1:23:56	御社に出すために必要なデータある。
1:24:01	植野教授放射線部構成資産で求めた測定の不確かさとしての標準偏差値であると思っています。
1:24:10	ずっと読んでるとですね、見るべき統計の企業表示警察指定とかいうのも出てきて、そうずっと、じゃそこだけなのかなと心配な。
1:24:21	金城、真下鳥海さんでして、この、ちょうど、添付 6-35 ぐらいから始まる。
1:24:29	本計画における二つ。
1:24:36	もう、
1:24:39	-30、はい。
1:24:44	要因が一つあると思います。よろしいでしょうか。
1:24:51	主電力の河井ですまずですね先ほどの表面測定 $1.645\sigma$ の CIGMA には、
1:25:00	換算係数の不確かさまで入っていませんで、これはどういうふうに求めているかという放射能の決定は、放射線測定した計数率と、換算係数を使って放射能量を求めて、
1:25:13	重要で終わって思っておりますので、それぞれ計数率は係数不確かさを見て、換算係数は換算係数不確かさを見るというような形で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:23	こちらの計数率不確かさに、ここの不確かさまで入ってしまうと、二重になりますので、あくまで今、計数率の話は、計数に関わる不確かさだけです、
1:25:35	換算係数の方につきましても、それぞれ、例えばですね。
1:25:42	L半導体検出器、今ご指摘があった添付表 6-35 の、次のページの添付 6-36 にはですね、 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> というものが載ってまして、
1:25:56	そこには <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> 相当する程度、余裕を見たような設定をしていますが、ここの例えば標準偏差もですね、これは本当に <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> に関する不確かさだけでございますので、
1:26:11	確かに一概的になかなかわかりにくいかもしれませんが、標準偏差というのは、必ずしも全部のものを入れてるわけではなくてそれぞれの項目で、不確かさを考慮して、それをそれぞれ積み上げているというような、
1:26:23	考え方でございます。考え方です。
1:26:29	法律を見るとときも、
1:26:31	私、
1:26:34	はい。ちょっとやっぱり、まだちょっと完成した後に、そこはダブルカウントになりました。
1:26:44	大分ところは、ちゃんと特化されて計算されてると、実はそれわかるんで、不確かさが始まるとどう合算表みたいのがあるんでよかったですけれども。はい。
1:26:56	どうもそれが二つないような。そう。橋場椎名奥津量があればそちらの方。
1:27:04	終わりました。
1:27:06	はい。
1:27:07	ちょっと時間もあれだったんで、
1:27:09	ちょっと残りはちょっと次回にさしてもらって、今まさにその、
1:27:14	会合の指摘もちょっと不確かさのやつは、いや、前回と今回で何が違うのかっていう話の中で特に不確かさのやつとか、メインなので、ちゃんと説明してくれっていう話に。
1:27:28	指摘とシェアしようと思うんで、そこをちょっと対立返してもらえればと思います。
1:27:34	なんだけど、ちょっとこっちもやりづらいのが。
1:27:38	放射能換算係数の不確かさが全部商業機密でマスキングじゃないですか。だから
1:27:44	何つうかな、議論できないんで、何かうまい表現とかでなんかできない。
1:27:50	何ていうかな、今もその、
1:27:52	何かちょっとこの議事録もちょっとひよっとしたら店も見せないといけないかもしれないけどそのあとで本当に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:00	ちょっと何ていうかその×キングだとあんまり話せないから不確かさのやつは多分、
1:28:06	お互い議論して、この整理でいいよねとかやらないといけないんだけど。
1:28:10	商業機密の松木をまず知ってるんで、その、
1:28:14	何ちゅうか、何か何かちょっと工夫して、表で議論できるような感じ。
1:28:19	してもらわないといけないと思い。
1:28:24	こんな感じでいいですかね。
1:28:26	ちょっと不確かさの議論はちょっとまだ終わんなかったんでまた来週もやりたいと思います。
1:28:35	あとちょっと1点簡単に
1:28:38	前回のクリアランスかフェリーをクリアしたことをもってして今回OKなんて、技術もあるんだけど、それは申請書といるのかどうかって、よくわからなかったけど、いや、ないんですけど。
1:28:50	前回OKだったから今回OKだったら、下記じゃなくて多分前回のQMSが回ってるって言う点においてはいいのかかと思いましたけど、そういったことであります。
1:29:01	ちょっと時間もあれになっちゃったんで、一旦ちょっとこれでおしまいにしてまた、来期だったら、
1:29:07	もう見てみて、ないしやったと思う。
1:29:16	はい。
1:29:17	では終わりますでしょうか。中部電力さんからありますか、質問等。
1:29:22	朝礼を通して、
1:29:24	従前のヤブシタです今日ヒアリングありがとうございました質問等ございません。いろいろ審査会合に向けたご支援いただきましたので、それに、事業者として、真摯に対応していきますので引き続き、どうぞよろしく申し上げます。
1:29:38	宮委員これで終了したいと思います。どうもありがとうございました。ありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。